

体験者からのメッセージ

我々はこの平和な日本をいつまでも守り続けていく事が、彼の霊に対するせめてもの供養であると私は信じている。

玉井 晋

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

8月15日、15年間続いた戦争は終わった。豊川海軍工廠の惨状を見た私は、戦争が8日早く終わっていたら豊川の仲間は……。今あらためて、平和の尊さをかみしめる。

萩坂 昇

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

次の世代の人々に無念の思いで逝った人達の事を語り継いでゆき、愚かな戦争の犠牲者の供養を続けていってほしいと願う一人です。

後藤 和子

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

今なお目に浮かぶ彼女たちの輝くような笑顔に、二度と同じ過ちは、繰り返してはならないと誓うのです。

山村 美佐子

『白紙に消えた青春』より

何としても子や孫にあの経験はさせられない。平和であることを強く強く願いつつ学友の冥福を祈る昨今である。

杉浦 ヨネ

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

戦争の凄惨さ、悲惨さを今私達が書き残して後の世の人々に戦争は絶対にすまじの警鐘に、これから日本を背負って立つ若い人々が、私たちの歩いた地獄の道を二度と歩まぬ様にと祈ると共に、若くして殉難散華した犠牲者の御霊のご冥福をお祈り申し上げます。

小林 ふみえ

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

戦後のきびしい中で、吾が子を腕に抱いた時、この子達には、絶対に戦争などを経験させてはならない、という気持ちでいっぱいでした。孫が出来て再びその念をあらためております。

加藤久子

『被爆 40 周年記念 嗚呼豊川海軍工廠』より

過ぎた日の戦禍だけを語るのではなく、歴史的な意味はこれからの世代を継ぐ人々に考えて欲しいと願っている。

佐々木 あき

『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』より

一時は生きていることが申し訳なく、肩身のせまい思いもした私でした。しかし遺族の方の深い悲しみの叫びを思う時、生あることへの感謝と共に、どんなことがあっても、戦争はあってはならないし、つらいことではありますが、戦争の悲惨さを、子供や孫に語り伝えていくことが私の使命の一分でもあると、心に決めました。

石黒 節子

『白紙に消えた青春』より